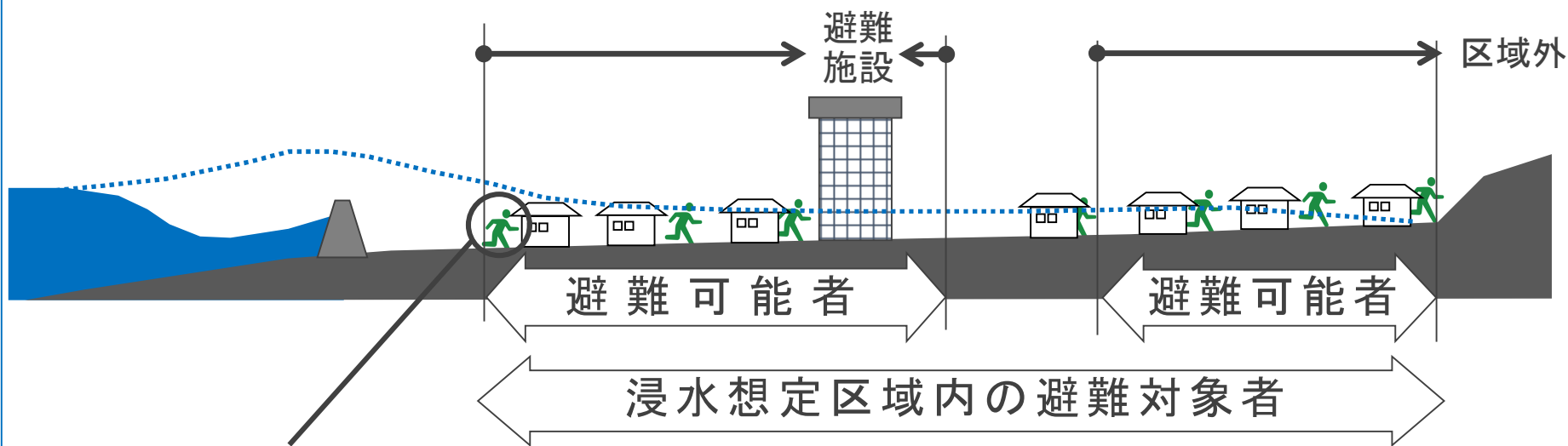




# 減災目標達成のために

避難による減災効果 = 津波犠牲者 × 避難施設カバー率 × 早期避難意識回答率

避難施設カバー率 =  $\frac{\text{避難施設や浸水区域外への避難可能者}}{\text{浸水想定区域内の避難対象者}}$  = 約 **98%**  
(令和2年度末)



早期避難意識の回答率 約 **68%**(令和元年度)

津波避難施設の効果を発揮し、県民の命を守るため、  
早期避難意識の更なる向上が必要です。

# わたしの避難計画＜牧之原市の例＞

## 「わたしの避難計画」



冷感庫や玄関など  
目につく場所に  
貼っておこう！

### 大雨の時

 **河川氾濫**

- 避難のタイミング
- 避難先

 **土砂災害**

- 情報収集手段 (●を塗りつぶす)
- 牧之原市LINE
- まぎのはらTeaメール
- 静岡県防災アプリ
- その他

### 巨大地震の時

 **自宅に津波が来る地域**

- 避難のタイミング
- 避難先

 **自宅に津波が来ない地域**

- 避難のタイミング
- 避難先(集合場所)

～作成ガイドで確認したことをメモしておこう～

 **河川氾濫による危険**  
(いずれか1つに☑をつけておく)

**家屋流出のおそれあり**  
(家屋倒壊のおそれのある区域に居住)

**家屋流出のおそれはないが、  
浸水のおそれあり**  
(河川の浸水想定区域に居住)

[ ] を [ ] で囲もう

3層以上	5m～10m未満
2～3層	3m～5m未満
1～2層	0.5m～3m未満
1層床下	0.5m未満

**危険なし**

 **土砂災害による危険**  
(いずれか1つに☑をつけておく)

**土砂災害のおそれあり**

[ ] を [ ] で囲もう

土砂災害警戒区域に住んでいる

土砂災害特別警戒区域に住んでいる

**危険なし**



いざという時には、  
パニックにならないで  
落ち着いて  
確認、行動しよう！

自由記載欄 (持ち出し品や、家族や親戚の電話番号 など)

巨大地震に備え、1週間分の  
水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう！



個人ごとの避難計画「わたしの避難計画」の作成により、  
県民の早期避難意識の向上を図ります。

3



# 住民ワークショップ(R3年度)



8地区×2回  
参加者延べ約370人



誰もが記入しやすい「わたしの避難計画」の雛形を作るため、  
分かりづらい点や作りづらさなどの率直な意見をもらいました。

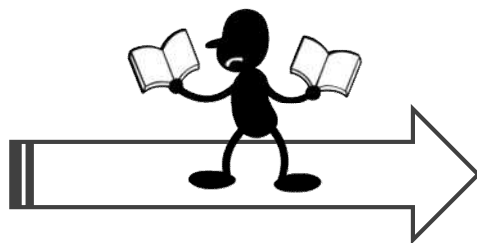
# 住民意見の反映（抜粋）

## ① 情報のスリム化

作成ガイド  
A4 × 約40ページ



情報量が多い



作成ガイド  
A3 × 1枚

## ② 情報のローカル化

市町全域の  
ハザードマップを使用



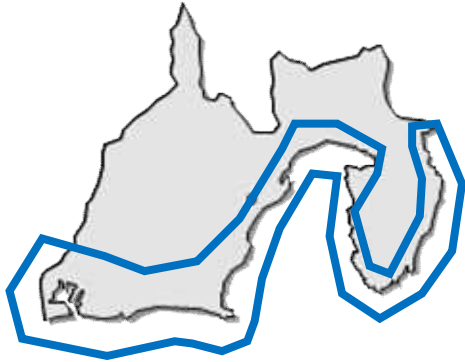
自宅を探しにくい



参加者の居住地に  
範囲を絞った  
ハザードマップを  
作成ガイドに掲載

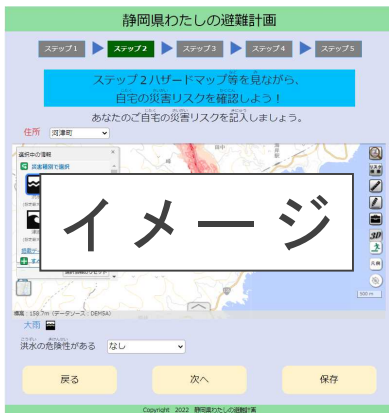
# R4年度の普及展開

## ①重点地域における「わたしの避難計画」の普及



- **市町と連携して、津波浸水想定区域内での普及を目指します。**

## ②「わたしの避難計画」電子版を県HPに構築



- **プッシュ型配布を基本としつつ、幅広い世代への普及のため、スマートフォン等で入力できる電子版を構築します。**